

四国中央市  
まち・ひと・しごと創生  
『第2期 人口ビジョン』

令和4年7月28日  
抜粋資料(一部加筆)

令和2年3月  
四国中央市

# 1. 本市の将来人口の見通し

## (1) 将来人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると本市の人口は、令和 27 年（2045 年）には 63,898 人、令和 42 年（2060 年）には 51,261 人となり、人口減少が進むと試算されています。

また、本市の総人口に占める生産年齢人口割合は、平成 27 年（2015 年）の 50,225 人から令和 42 年（2060 年）に 24,658 人と半分以下にまで急速に減少することに加え、年少人口割合は平成 27 年の 10,772 人が令和 42 年には 4,772 人と約 5 割まで減少するとされています。

これに対し、老年人口の割合は、平成 27 年の 26,416 人が令和 7 年（2025 年）に 28,161 人まで増え、この年をピークに減少し続け、令和 42 年には 21,831 人まで減少するとされており、長期的・継続的な人口減少と少子高齢化の進行による様々な影響が懸念されています。

### a. 将来人口推計



### b. 年齢 3 区分将来推計人口割合【パターン 1（社人研推計準拠）】



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## ア. 2060年の目標人口

本市では、国や県の長期ビジョンを勘案し、人口の将来展望を整理した結果、令和12年（2030年）に約77,000人、令和42年（2060年）に約65,000人の人口を達成し、その後維持を目指すこととしました。

○施策を講じないで、現在の人口動向が続いた場合の推移⇒令和42年に約5万1千人  
 【参考①】 国立社会保障・人口問題研究所の推計

○目標人口65,000人を達成するためには・・・

・合計特殊出生率を令和12年（2030年）に1.8に向上、令和22年（2040年）に2.07に向上

### a. 人口の将来展望



|                   | R2<br>(2020) | R7<br>(2025) | R12<br>(2030) | R17<br>(2035) | R22<br>(2040) | R27<br>(2045) | R32<br>(2050) | R37<br>(2055) | R42<br>(2060) |
|-------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ① 社人研推計準拠の出生率の設定値 | 1.59         | 1.57         | 1.58          | 1.58          | 1.59          | 1.59          | 1.59          | 1.59          | 1.59          |
| ④ 四国中央市の目標出生率     | 1.75         | 1.78         | 1.80          | 1.94          | 2.07          | 2.07          | 2.07          | 2.07          | 2.07          |

|        | 2030年  | 2032年  | 2035年  |
|--------|--------|--------|--------|
| 目標人口   | 77,391 | 76,334 | 74,749 |
| 年少人口   | 8,831  | 8,940  | 9,104  |
| 生産年齢人口 | 40,856 | 39,952 | 38,597 |
| 老年人口   | 27,704 | 27,442 | 27,048 |